



Kusatsu International  
Friendship Association

http://www.kifa-japan.org



No. 126  
2019.6.31



# KIFA スクウェア

[編集]草津市国際交流協会

## 平成31年度草津市国際交流協会総会



平成31年4月20日(土)に草津市国際交流協会の平成31年度総会を、草津市役所8階大会議室で開催しました。

総会には33名の方が参加されて開催されました。総会には正会員71名中25名が出席され、31名の委任状と合わせて56名の出席が確認され、総会が成立していることが報告されました。

開会にあたり草津市国際交流協会の南会長より挨拶がありました。①「国際交流・国内交流部会ではポンティアック市との姉妹都市締結40周年を記念して、中学生7名を含む総勢30名の友好使節団が11月始めに8日間訪問され、新設された日本庭園に記念モニュメントが設置されたこと、②国際理解部会では英語サロン、出前授業、酒蔵コンサート等が計画通りに実施されたこと、③多文化共生部会では多言語カフェ、パ

ワフル交流市民の日、多文化交流会等多くの事業が行われ、特に全国青年司法書士協議会と協働の「身近な法律ハンドブック」のやさしい日本語訳、英語訳の製本化事業が、今年度中の発刊を目指していること、④広報部会では上記3部会の活動の成果をKIFAスクウェアで精力的に広報できたこと、以上4部会のこと話がされました。また入管法改正に伴い、益々増えていく事が想定される外国人との多文化共生を進めてくことが、KIFAの重要な使命であり、皆さんの協力をお願いする、と話されました。

その後、草津市国際交流協会の名誉会長でもある橋川草津市長より、草津市国際交流協会として様々な取組に注

力し草津市の国際化に対する取組への感謝が述べられ、今後増加するであろう外国人との協働による地域共生社会の実現に向けての、草津市国際交流協会の積極的な取組が期待されていることが話されました。

議事自体は第1号議案「平成30年度事業報告について」、第2号議案「平成30年度会計決算」、第3号議案「役員人事について」、第4号議案「平成31年度事業計画について、および第5号議案「平成31年度会計予算」が審議され、全議案とも無事に総会の承認を受けました。

(KIFA事務局長 浦 幹夫)



# 平成31年度総会記念講演会



～入管法改正に伴う技能実習制度について～



今年度の記念講演会には、インドネシア・バリ島からの技能実習生受入監理事業をされている滋賀産業技術育成支援協同組合のみなさんをお迎えして、技能実習制度のお話や、実習生たちの日本での生活のお話などをさせていただきました。

最初に武田事務局長が、何故今入管法改正が施行されたのか、今後どのようになっていくかの話をされました。深刻化している人材不足の解決策として特定技能1号の実習生を345千人受入れる方向だが、受入側含めてまだまだ対応策が明確になっていない実情が語られました。

その後、村田代表理事から何故インドネシアに特化しているのか、今までの苦労話からこれから目指すべき方向性と課題が、熱い思いで語られまし

た。受入監理団体としてインドネシアと日本の「架け橋」になることを理念に、人材育成に力を入られていることと、窓口になる現地法人が信頼おける団体であることが一番大事であることが語られました。

次に技能実習生として入国し、実習終了後も日本に居住し協同組合のチームマネージャーをしているウィジャイさんから「日本で暮らして思うこと」と題して、一番好きな武将、日本に来て苦労したこと、日本で生活して楽しいこと

の話がありました。聞き取りやすい日本語で本人の努力の程がうかがえました。

最後に現在姫路で旋盤工として実習中の、ウィラワンさんとパラディセさんによるインドネシアの民族楽器スリン（竹笛）演奏と、バリ島舞踊が披露されました。

実習生を受け入れる側の日本人の意識を変えてくれる有意義な講演会になりました。

(KIFA事務局長 浦 幹夫)



# Lapland

## トレッキング

### 紀行

ラップランドは、夏の間には太陽が沈まず冬の間には太陽が昇らないスカンジナビア半島北部の地域です。KIFA会員の井上さんが高校時代に見た映画のラップランドの風景に魅了され、時を経てその大自然に向き合うトレッキングのお話です。



背に負うバックパックがミシミシと音を立て肩にくい込む。今日のトレイルは、ごつごつした石が飛び出し、昨夜からの雨でぬかるみがひどい。油断したら転倒の憂き目に合う。低く垂れこめた雲間に雪を抱いた山々が湖に影を落としている。一昨日のあのユートピアを思わせる景色が想われる。鏡の湖面が澄み切った青空を、急峻な山の姿を写す。白夜の空には左に太陽が・・・右には月が・・・朝には湖面を静かに吹き抜ける風に、さざ波の音に、名も知れぬ野鳥の声に夢から目覚める。全てがブルーの大自然の真ただ中にいる。

そんな背中合わせの日々をおよそ一カ月、今年の夏も北欧の「Lapland」で過ごしている。

「あなたの趣味は?」と訊かれる。誰にでも良くあることだ。そんな時私は「自然の中で過ごすこと・・・できれば人のいない大自然の中で・・・」と答える。若輩の頃より 近くに・・・遠くに数々の山に遊んだ。そこが文明の音の聞こえない、遭う人のいない処であればなおさら良い。

それは高校生の時だった。当時アメリカ、イタリア、フランス等の映画が全盛だった時代、とあるスウェーデン映画に遇った。日本題を「太陽のかけら」とあったが原題とは全く関係の無いタイトルで「Kung sleden」(王様の散歩道)が正しい。そのストーリーはラブサスペンスか何かで 登場人物も数名のとてもシンプルなものだったと記憶している。・・・が、その映画のバックグラウンド(撮影地)に魅了された。雪を頂いた山々、急峻な谷、吹き荒ぶ風の音、崩れ落ちる崖の石の音、滝の・・・溪流の水音・・・見えた、聞こえた。鳥肌が立ち 震えた。こんな処があるんだ。この眼で、この脚でいつの日か・・・今日ならインターネットで即座に検索・・・であろうが・・・当時の高校生には知る由もない。



老いて、そろそろ脚腰もままならなくなってきた頃、ふと、「上を横へ」の思いに至った。登山をトレッキングに・・・である。そしてあの記憶が、夢が甦ってきた。件の「Kungsleden」は北欧の北極圏、「Lapland」(スカンジナビア半島北部)に位置する。秋から春は雪と氷の世界でオーロラで有名な処でもある。サーミ人と云う種族がトナカイを追い禄を食んできた地域

である。トナカイの他 ムース、レミング、ライチョウ、場所によっては熊などが生息している。今日「Kungsleden」は一つの、当地ではメジャーなトレッキングルートだが 他にも色々なルートがありスウェーデンだけではなく近隣の国々からトレッカーが訪れている。Trackless(人跡未踏)なエリアに挑む猛者も見かける。多くがその半端ではない大自然のスケールに魅せられるのであろう。

私たち(妻同行)は2014年以來5年連続のLapland山行きになる。夏の約1ヶ月余をテント生活しながら山中を歩いて過ごす。基本、交通手段・通信・電気設備などは無い。緊急のヘリコプター、GPSのみ。何よりの救いは水(雪解けの川の水)が豊富な事だ。メジャーなルートには約20Kごとに小さな山小屋があり乾物など多少の食料も販売してたりする。また簡易の宿泊所にもなっている。殆どのトレッカーは荷物(バックパック)を軽くする為、また時間節約の為にこれを利用して



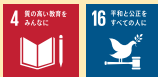
最初の夏は十分な情報も無いまま「Kungsladen」を歩いた。出来るだけ小屋を利用せず・・・がポリシーである。全行程の食料、燃料、テント、キャンプツール、着替え等々、一人30K超の重量になる。負うて歩行はままならない。小学生を負んぶして山道を歩く様なものだから・・・風雨の中をよるけながら歩く。バランスを崩して転倒。強風の中でテント生活。苦痛連続の一年目であった。

「なんでこんなシンドい馬鹿な事をしてるんだ?・・・こんな処二度と来るものか!」が・・・いつの間にか5年目になってしまった。年追うごとにタフなトレイルに挑戦してきているのがとても可笑しい。地図を見ながら「次回はどの辺りを歩こうかな?」の今日この頃である。



(KIFA会員 井上 亮)

# 多言語カフェ



遠い永遠の国、インド！憧れの地より日本に来ている皆さんによる、本当のインドの紹介！



去る5月17日に南草津駅前にあるアーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) で、「インドをもっと知ろう!!」というイベントが開催されました。当日は大変多くの方が参加してくださいました。お陰様で大盛況で、とても楽しいイベントとなりました。

このイベントは、立命館大学に通うインド人留学生のプージャさん、シュウェッタさん、カーティックさんや、立命館大学のインド人の先生サティアさん、草津で働くインド人、アジャイさんという、いろいろなインドの方々、草津に住む日本人の為に一緒に考えてイベントでした。

イベントは、仏教の国、お釈迦様の生まれた国らしく、インドでイベントを始める時によく使われる祈りの時の歌を、彼等が歌うことから始まりました。彼等の纏うインドの衣装によって、大変神秘的な始まりとなりました。その後はインドの言語、インド文化と日本の文化の類似点、ビンディ、お祭りやインドの衣装の関係、インドの食べものなどの説明を聞いたり、インド人に変身するというゲームを楽しんだり、参加者同士の交流を深めたりと、盛りだくさんの内容を皆さんと共に楽しみました。

参加者の方々から、このイベントで1番評価を得たのは、本場のインドの味を楽しむ試食でした。少しスパイシーな香りがして辛いという方もいらっしゃいましたが、本場インドの味が大変美味しいという方たちが、かなりいらっしゃいました。日本人向けではない本場のインドの味付けの料理が、こんなにも日本人に受け入れられるものだという事を体験した、楽しい機会となりました。



また、インドという国では、日本のように日本語という一つの言語ではなく、地方地方によって言語が違い、イベントを開催してくれたインド人同士でも、出身地が違うとインドの言葉が通用せずに、英語を使ってコミュニケーションを取らなければならないことを知り、会場から驚きの声が上がりました。インドには不思議な事が多くあり、私達は益々このイベントに夢中になってしまいました。

結婚したインド女性たちはオデコに赤い丸い物をつけます。それはビンディと言います。当日はインドの人が本当に付けているビンディをお持ちいただきましたので、皆んなでワイワイ自分のオデコに付けてみたり、最近のお洒落なビジュア付きのビンディを見せてもらったりしました。本物のビンディを目にするのも手に取るのも初めてという方がほとんどで、関心が集まりました。

インドと日本の文化については映像で紹介されました。その映像は、私達が日本文化と信じていたものの多くが、インドの影響を受けていることがわかる映像でした。仏教が生まれたインドと寺院を大切にしている私達の住む日本が、縁のある国同士であることに改めて衝撃を受けました。遣隋使や遣唐使など、中国から仏教や様々な文化が日本に入って来た事は、知ってはいましたが、その先のインドと日本との結びつきを、改めて深く理解した貴重な時間となったように思います。イベントを頑張ってしてくれたインドの方々や当日会場に足を運んでくださった方々に、改めてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

(KIFA会員 沖 久美子)



「帰省の時に持って行ける『草津おみやげ』がもっとたくさんあればいいのに！」そんなひとことから2016年子育て世代を中心に、草津おみやげ隊をつくり、2019年たくさんの人や団体と関わりを広げ深めるために草津おみやげラボとなりました。

草津は便利で共通性のある友達はできるが、生活に草津らしいマチの魅力を感じることは少ないと感じませんか。また、草津に移り住んでいるのは私たち県外出身の子育て世代だけでなく、活動を通して留学生など外国にルーツをもつ人もいて、様々な能力を持っていると気付きました。

そこで、私たちは縁あって草津にいるひと、伝統や高い技術のモノ、地域で行われているコトを結ぶ機会として、みんなで『草津おみやげ』を見つけよう、作ろう、そして自慢しよう！と次の事業を行っています。

### ◎クッキングイベント

草津の食文化を学び、新しい食と発想の融合を図り、世界へ誇れるおみやげ開発の足がかりをつくる。

### ◎地域再発見イベント

草津の歴史、文化の古きを地域の『語り部』から聞き、産業の『技術者』、大学の『SDGs・持続可能な活動』からこれから科学される新しき『生活』を考える見学会や体験会を行う。

### ◎草津版地域発掘ボードゲーム

みんなで草津の『案内人』になろう！新しいコミュニケーション手段として、草津の魅力を案内・発信する、誰もが体感できるボードゲームの開発と、体験会を行う。

ちょっと面白そうだな！と思う人なら、誰でも参加することができます。普通なら出会うことのない多様なひとの『交流の場』、『マチに愛着をもつきっかけ』が生みだされるでしょう。私たちはもっと自らのスキル（語学・コミュニケーション・料理・芸術・IT・情報発信・子供との関わりなど）を活かして、『生きがい』『活躍の場』を持つことができます。また、草津で生まれ育つ子供達にも伝えて、やってみたい！を実現するチカラになって欲しいです。私たちの活動に、ぜひご参加、ご協力、宜しくお願いいたします！

# 草津おみやげ

## 他団体紹介

# ラボ



草津おみやげ隊

LINE@



ひと・モノ・コトをつなげて世界へ情報発信♪

草津おみやげ隊  
選別県草津市に住んで数年のママが主体  
びわ湖の産み  
草津の特産品をPR  
活かした新しいモノづくりをとおして親子でもっと地域のことを知る  
その魅力をお土産として、全国・世界に発信していく！活動  
ママ・内職人・子供達のやりたい！をカタチに！  
kusatsumiyage.localinfo.jp/



ひと・モノ・コトをつなげて世界へ情報発信♪

イベント案内情報・問い合わせ先は  
LINE@登録で！  
または kusatsunoen@gmail.com  
私たちの活動はこちら▼  
<https://kusatsumiyage.localinfo.jp/>



# SDGsとは?

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。  
草津市国際交流協会では、自分達の活動をSDGsの各目標に重ね合わせ、活動自身をSDGs目標の達成に向けて取り組んでいます。

以下に、外務省のホームページに記載してある説明を記載します。

(出典:外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>)

## 持続可能な開発のための2030アジェンダ

SDGsは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。**「誰一人取り残さない」** 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までを期限とする **17の国際目標**。その特徴は、以下の5つ。



**普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**する

**包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し、**「誰一人取り残さない」**

**参画型** **全てのステークホルダー** (政府、企業、NGO、有識者等) **が役割を**

**統合性** 社会・経済・環境は不可分であり、**統合的に取り組む**

**透明性** モニタリング指標を定め、**定期的にフォローアップ**

### 前身:ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。

(①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)

- ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
- 極度の貧困半減 (目標①) やHIV・マラリア対策 (同⑥) 等を達成。
- × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減 (同④、⑤) は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。

**環境**  
(リオ+20)

**人権**

**平和**

## 【参考】持続可能な開発目標 (SDGs) の概要



ロゴ：国連広報センター作成

## 【参考】持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

目標1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4 (教育)	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8 (経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9 (インフラ、産業化、イノベーション)	強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10 (不平等)	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

# 日本語ひろば



## 彦根城でのお花見

私は日本語ひろばの人といっしょに満開の桜を楽しんで、本当に嬉しかったです。皆と写真を撮って、色々な話を交換することによりいい思い出を作れました。自己紹介する時、日本語ひろばの先生だけではなく、他の留学生と日本で働いている人も、一人一人の名前や国などを知ることができます。そして、桜を見ながら弁当を食べることでストレスを解消できると思います。本当にいい時間です。チケットを買って来てありがとうございます。もし他のイベントがあったら、私は参加したいです。私を忘れずに誘ってください。(SMILE)

(立命館大学理工学部4回生 マレーシア出身  
ヌルマイサラビンティマズラン)



## お知らせ

Information

### 募集 2019年度 KIFA英語サロン後期(全10回)

イギリス人講師デイビッド先生によるKIFA英語サロン(初級、中級)の参加者を募集します。毎回違ったテーマで英語を楽しむサロンは、アットホームな雰囲気です。

■日時: 2019年9月30日~12月16日の毎週月曜日(祝日除く)

【初級】9:30~10:30

【中級】10:35~11:50

■定員: 各級12名(先着順)

■場所: 草津市立まちづくりセンター(草津市西大路町9番6号)

■参加費: (10回分)

【初級】KIFA会員6,500円・一般9,500円

【中級】KIFA会員9,000円・一般12,000円

※会員になるには年会費2,000円が必要です。

■申し込み開始: 2019年9月2日(月)

※会員の方は、8月26日(月)からお申込みいただけます。

■お問合せ・お申込み: 草津市国際交流協会まで窓口・電話・メールにてお申し込みください。



草津市国際交流協会(KIFA) 〒525-8588 草津市草津三丁目13-30  
TEL.077-561-2322 / FAX.077-561-2482 E-mail:kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

会員・ボランティア随時募集中!  
お気軽にお問い合わせください